

箕島小だより



有田市立箕島小学校
平成28年7月号①
《第6号》



学校教育目標

- よく考える子ども
- 思いやりのある子ども
- 元気な子ども

平成28年度がスタートして、早くも3ヶ月。1学期のまとめの時期となりました。本校では、研究主題を「生き生きと学び合う児童の育成 - 考えを深め合う工夫を通して - 」としています。

基本的な生活習慣の定着、読み・書き・計算力の向上といった教育の不易の部分大切にしながら、「進んで話し合おうとする児童」「互いの考えを正確に伝え、聞き合う児童」「主体的に学び合おうとする児童」の育成をめざし、ICTや学校図書館などの情報ツールを効果的に活用しながら、これからの時代を生きていくための力を育ていけるよう取組を進めています。

特に、重点目標として次の5点を掲げ、日々の取組を進めています。

1. 生活習慣の確立 2. 基礎学力の充実 3. 学習指導 4. 学校安全 5. 連携・協力



1. 生活習慣の確立について

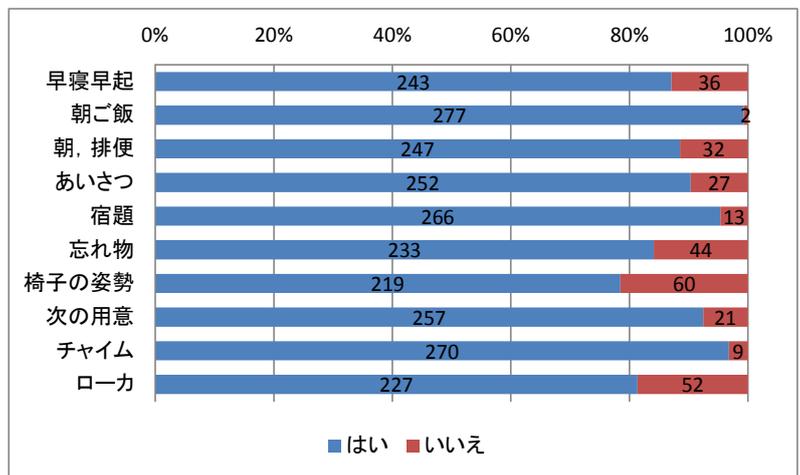
定期的に「生活のふり返し」(下記の10項目)を行い、意識を高め生活学習習慣の定着を図っています。生活ふり返しシートに記入しながら、自分の生活を振り返ります。

下のグラフは、6月のふり返しシート集計結果学校全体のものであります。

各学級、各学年の集計結果も出て、各担任がねらいを持ち、児童はその結果から改善点を話し合い、改善策などを考え、よりよい学校生活を送れるよう取り組んでいます。

‘早寝早起き朝ご飯’については、学校生活を送る根幹となります。‘朝、排便’についても同様です。

学校での学習が気持ちよく、元気いっぱいスタートできるように、ご協力をお願いします。



上記の10項目全て大切にしているのですが、今年度特に学校では、「**自分から挨拶ができる児童**」「**時間を守ることができる児童**」の育成に焦点をあてて指導しています。

「箕島小学校に元気なあいさつの声をひびかせよう」とあいさつ運動を行っています。学校内では友だちと元気なあいさつを交わす姿が見られますが、このあいさつの輪を「道で出会った地域の方々に・・・」「学校に来られた方々に・・・」もっともっと広げていけたらと思っています。



2. 基礎学力の充実について

「各学年における四則計算や漢字の読み書きの充実を図る」ことをねらいとして、定期的に確認テストを実施し児童の学力定着に生かしています。放課後や休憩時間を利用しての補習や個に応じた宿題の工夫、また水曜日朝に「基礎学習の時間」を設定し、全校一斉で基礎学習に取り組んでいます。



3. 学習指導について

教科の授業において、より深く考え、話し合い、学び合い、子どもたち同士の「よりよい人間関係」を育み、学力向上を目指していきたくと考えています。具体的な取組としては、

- ①「話し方」「聞き方」の指導において、低・中・高学年で身に付けたい「話し方」「聞き方」を設定し、全校的に統一して取り組みます。
- ②「箕小授業スタイルの設定」1時間の授業の流れを見直し、より生き生き学び合うことができ、高い学習効果を得られる授業作りを目指します。
- ③効果的な学び合いを進められるように、学習形態の具体的な進め方を研究します。
- ④ICTと学校図書館を効果的に活用した授業作りを進めます。



当たり前のことですが、職員間の学び合いも進め、ICT活用についての研修会、低学年・中学年・高学年のグループで交流授業・協議会を行ったりと、毎日の授業の充実を図っています。



(1年生算数)



(4年生・道徳)



(6年生・理科)

4. 学校安全について

子ども達の安全に対する意識の向上を図る取組を進め、また災害発生時の対応能力を育てるため様々な状況を想定した避難訓練を行います。

また、施設面の安全点検を行い、教室環境の整備充実を図ります。

(今年度は、小プールの改修工事をおこなっていただきました。)

5. 連携・協力について

ぶっとく幼稚園・箕島保育所・古江見保育所との連携を深め、小学校入学時の児童の小学校生活へのスムーズな移行を図っていきたくと考えています。箕島中学校区の小学校(港・田鶴)、箕島中学校との連携の取組も推進していきます。

また、日頃お世話になっている地域の方々へ学校の様子を発信したり、児童の活動によって感謝の意を表せる行事を計画していきます。